

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース

HACE

No.131

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

第27回北海道臨床工学会開催予告

■ 学会長	大宮 裕樹 (KKR 札幌医療センター)
■ 学会事務局長	加藤 敏史 (石狩病院)
■ 会 期	2016年11月13日(日)
■ 共 催	公益社団法人北海道臨床工学技士会
■ 受付開始	8:45 ~
■ 開 演	9:20 ~
■ 会 場	北海道大学 学術交流会館 札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅から徒歩8分
■ 参加費	正会員:¥4,000 賛助会員:¥4,000 非会員:¥6,000 学生:¥1,000

平成28年11月13日(日)第27回北海道臨床工学会が開催されます。

会員皆様の日常業務及び創意工夫、研究など多数の演題発表をお願い申し上げます。

また、参加を予定されている方や関係者の皆様におかれましては、内容変更や確定事項があるごとに「公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページ」を随時更新いたしますのでご確認願います。

時節柄、御多忙のことと存じますが多数の参加をお願い申し上げます。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.131

第27回北海道臨床工学会開催予告	1
第7回北海道呼吸療法セミナー終了	4
理事会からのお知らせ	4
11月からの予定表	4
外部理事紹介	5
北海道医療技術者連絡協議会ちかほパネル展	6
公益事業推進委員会だより (K-Palette)	7
頑張れ!フレッシューズ	8
同一施設まとめ郵送のお知らせ	9

北海道臨床工学会へ参加される皆様へ

◆◆◆ 発表者の皆様へご案内 ◆◆◆

- ご発表頂きます時間の少なくとも 30 分前までに必ず会場受付にお越し下さい。試写と通過確認を致します。ファイルが開かないなどのトラブルを考え早めにお越し下さい。
- ★PC 持ち込みの方も必ず事前に受付を済ませて下さい。
- 一般演題発表者は発表予定時間 10 分前には次演者席にご着席下さい。
- 一般演題の口演時間、討論時間は演題数によって調整します。(前年度は口演 6 分、質疑応答 2 分 両方とも長くなることはありません)
- 一般演題発表中、5 分で 1 回、6 分で 2 回のチャイムを鳴らしてタイムリミットであることをお知らせします。
- 登録時は、口演・ポスターを選択できますが、口演のみの予定です。演題数によっては学会事務局の裁量で変更する場合があります。
- 発表中のスライド操作は発表者に行って頂きます。音声の利用はできません。
- 発表データファイルを保存した USB メモリをご持参下さい。USB メモリは、突然認識しなくなるなどのトラブルがありますので、バックアップの USB メモリも準備しておくことを強く推奨致します。
- 事務局にてご用意しておりますパソコン (Windows) には PowerPoint 2010 以上の Version をインストールしております。上記環境にて正常に作動するデータのご用意をお願い致します。対応ソフトは Windows 版 Microsoft の Power Point のみです。
- Macintosh で作成したファイルは Windows で動作確認をしてからお持ち下さい。
- 動画は可としますが、事務局で用意する PC に動画再生に必要な Video codec が Install されていないなど、再生できないことが多々ありますのでご自分の PC を持参して下さい。
- ファイルの修正は PC 受付コーナーで対応できるようにします。

◆◆◆ 座長の皆様へご案内 ◆◆◆

- 座長の皆様は、ご担当セッション開始 30 分前までに「総合受付」に到着の旨をお知らせ下さい。担当セッション開始 10 分前には次座長席へご着席下さい。
- 担当セッションは必ず時間内に終了するよう格段のご配慮をお願い致します。

◆◆◆ 討論、質疑応答でのお願い ◆◆◆

- 質問は所属・氏名を述べたのち要点のみを簡潔に発言し、限られた時間内で有意義な討論ができるようご配慮下さい。

(重要!!) 演者の皆様へ 投稿原稿提出についてのお願い

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
広報委員会

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されない方は、「投稿・執筆規定」に従い、下記の期日までに必ず投稿原稿を提出して下さい。提出は郵送でもメールでも受け付けます。

編集用に用意しているパソコン(Windows)には、MicrosoftのWord2010とPower Point2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN登録となっています。今回発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

記

締め切り期日：2017年1月13日（金）必着

原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

Phone : 0166-24-3181(内線3905)

FAX : 0166-24-1125

Mail : f_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp

※後日投稿の意志に変更が生じた場合も、上記まで連絡をお願いいたします。

北海道臨床工学技士会 投稿・執筆規定

1. 北海道臨床工学技士会会誌では、研究論文、研究速報、症例報告など、他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿は北海道臨床工学技士会会員とします。
3. 北海道臨床工学技士会会誌へ掲載されたすべての論文の著作権は、本会に帰属します。
4. 原稿提出の基本
 - 1) 原稿の大きさはA4判(縦使用)横組み、パソコンにて、1行40字×40行(1600字)にしてください。
 - ・日本語の通常字体にはMS P明朝、太字にはMS Pゴシックを用いる。また、英文の通常字体にはTimes New Roman、太字にはArialを用いる。ほか、題名は14Pとし、本文は10.5Pとする。単位は、国際単位系(SI)を使用する。
 - 2) 図表はA4用紙に図表だけをプリントアウトした物を提出してください。
 - 3) 原稿枚数は規定しませんが、図表の合計は10点以内を目安にしてください。
 - 4) 図表を含めた提出原稿は、原本の他にコピーを添付してください。
 - 5) 提出原稿は、プリントアウトしたもの1部とCD-RまたはDVD-R(Windowsのフォーマットでワード文かテキストファイルで保存)を添付してください。なお、提出して頂いたメディアは返却致しません。
5. 投稿原稿の採否は、編集会議で討議し決定します。また、編集規定に従い原稿の加筆・訂正・削除などをお願いする場合があります。
6. 原稿執筆の順序
 - 1) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は以下の様にして下さい。
 1. 緒言 (はじめに、まえがき)
 2. 研究方法 (対象、症例、方法)
 3. 研究結果 (結果)
 4. 考察
 5. 結論 (結語、まとめ、おわりに)
 利益相反
参考文献

2) 見だし番号は以下の様にして下さい。

1. _____見だし

1). _____小見だし

(1)

7. 利益相反 (COI) の公開

投稿論文内容に関して、筆頭著者または連名著者が自身の所属する機関・団体以外の企業あるいは営利団体と、利益相反関係がある場合に明示してください。

*利益相反がない場合には「利益相反はありません」、「利益相反はない」などと記してください。

*利益相反がある場合には「本研究は〇〇社(企業名など)より資金提供をうけた」、「本検討は〇〇社(企業名など)と協同研究によってなされた」、「本論文は〇〇社(企業名など)より測定装置(材料など)提供をうけた」と具体的に記してください。

*判断に迷う場合は、お問い合わせください。

8. 参考文献の記載方法

本文中の参考文献番号は引用順とし、文中に右肩付文字にて記載し(引用順⁽¹⁾)引用箇所を表示してください。

1) 参考文献の書き方

(1) 雑誌の場合

・著者名,共著者名,共著者名,ほか: 論文題名, 雑誌名巻(号); 初頁-終頁,発行年.

(2) 単行本の場合

・著者名: 書名. 版, 出版地. 出版社. 発行年. 初頁-終頁

*共著の場合は、その氏名を3人とし、3名以外の扱いは「3人目の氏名, ほか: 」と記載してください。

9. 図表の規定(写真は図として扱う)

1) 図表に使用する文字はMS P明朝を使用して下さい。

2) 提出する図表は、白黒で光沢鮮明な手札(Lサイズ写真)以上の写真、または同等以上の解像度を有したものにして下さい。

3) 図題は図の下に、表題は表の上に記載して下さい。

第7回北海道呼吸療法セミナー終了



講師の下元佳子先生

2016年9月25日(日)北海道建設会館9階において、第7回北海道呼吸療法セミナーが開催され、臨床工学技士のみならず看護師や理学療法士の方々も多数ご参加いただき合計で101名の参加がありました。セミナーでは、理学療法士である講師の下元佳子先生から呼吸療法に重要な姿勢管理について講演して頂きました。欧米との介護動作に関する考え方の違いや、様々な福祉器具の紹介、体位変換時の除圧方法について動画を使用し分かり易く解説して頂き、すぐに日常業務に役立つ内容となっていました。参加者からは「普段とは異なる視点から呼吸療法を考える良い経験となりました。」や「呼吸リハビリについてもっと理解を深めたいと思いました。」、などの感想が聴かれました。本セミナーに初めて参加された方も多く、呼吸療法における職域を超えた連携が大切であると再認識することが出来た有意義なセミナーとなりました。(広報 東)

理事会からのお知らせ

平成28年度9月28日の理事会において以下の報告・協議がされました。

□報告事項

1. 新入会、退会の承認
2. 財務報告年会費報告について
3. 各委員会報告
4. 北海道・東北連絡協議会(工学会)について
5. 賠償責任保険更新人数
6. 清水赤十字病院への支援物資について
7. 常務理事の活動報告

8. 北海道・東北連絡協議会における日本臨床工学技士会理事選挙について

□協議事項

- 議案 1. COIについて(工学会)
 議案 2. 休会規定について
 議案 3. 共催及び後援規定について
 議案 4. 2020年日本臨床工学会について
 議案 5. 2017年日本体外循環技術医学会北海道開催について
 議案 6. 北海道臨床工学会前日懇親会について
 議案 7. 第5期各委員会退任者への対応
 議案 8. AED操作トレーニングツールについて
 議案 9. Web会議システムについての説明
 議案 10. 医療安全に関するワークショップの開催について
 議案 11. 医療機器の取り扱いに関する啓蒙活動について

11月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2016年11月6日(日)、12月18日(日)
「第8回血液浄化StepUpビデオセミナー」
 会場 11月6日 中外製薬札幌支店会議室
 12月18日 釧路赤十字病院講堂
http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/files/pdf/h28files/8th_video_seminar.pdf

2016年11月16日(水)
「医療ガス保安講習会」
 会場 エア・ウォーター(株)菊水研修センター
 札幌市白石区菊水5条2丁目3-12
http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/files/pdf/h28files/iryogasuhoan_kousyuukai.pdf

2016年11月27日(日)
**「第11回医療安全セミナー
 ～補助循環の安全管理～」**
 会場 KKR札幌医療センター 3階 会議室
 札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/info_study/2016/11th_safety.html

外部理事紹介

当技士会の外部理事の先生を不定期で紹介しています。今回は北海道情報大学医療情報学部・医療情報学科教授の佐藤裕二先生です。

2014年に和田龍彦先生より外部理事に推薦を頂き2期目になりました。1979年に大学を卒業して以来、一時期の研究期間を除いて臨床現場に勤務しておりました。専門は胃・大腸を中心とする消化器外科です。2014年4月から現在の北海道情報大学 医療情報学部勤務しております。

1980年代は、消化器外科では電気メス、麻酔器、人工呼吸器などは看護師と私たちで管理運営しておりましたが、なかなか調節が難しく先輩に教えてもらいながら患者さんの状態に合わせて管理しておりました。最近では消化器外科手術だけでも、通常の電気メスに加えバイポーラー電気メス、レーザーメス、マイクロ波、超音波メスがあり、腹腔鏡手術の機械と用具、ディスポ製品も大幅に増加し、まさにスパゲッティ症候群で、手術に集中するためには臨床工学技士の皆さんの協力が不可欠です。

私が実際の外科系の現場で感じたことから、今後臨床工学技士に期待する分野として人工心肺装置、手術室・ICU、透析という3分野に加え、2つあげられます。

一つは内視鏡部門の発展です。実際に内視鏡部門で臨床工学技士が活躍している病院も多くあります。生検、ポリペクトミー、止血手技などからEMR、ESDなど手術といってもいいようなことが、ほとんどの施設で行われるように

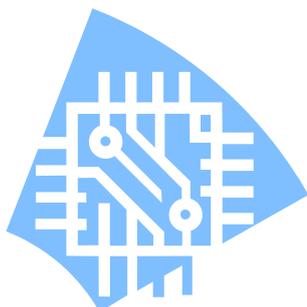


北海道情報大学医療情報学部・
医療情報学科教授 佐藤裕二先生

なりました。また、通常の外科手術に内視鏡手術を組み合わせる外科手術手技も行われております。これらには、看護や検査部門のスタッフのみでは不十分で、工学技士が中心メンバーとして加わることでさらに発展すると思われます。

もう一つは、手術室を中心とした材料管理(いわゆるディスポ製品管理)です。医師それぞれの好みで同様の製品が数種類もあることが多く、無駄が多く見られることです。これは経営上に直結する問題で、ディスポ製品は衛生面、管理面で有意義である一方で、コストもかさむため管理は重要です。また、機器に連動して使用することが多く、その仕組みをよく理解している工学技士が行うべきであると思います。

今後、北海道技士会がますます発展するよう、微力ながらご協力したいと思います。よろしくお願いいたします。



北海道医療技術者連絡協議会

ちかほパネル展



去る平成 28 年 8 月 27 日 (土)、札幌市地下歩行空間におきましてパネル展が開催されました。これは北海道医療技術者連絡協議会が主催するパネル展で、医師や看護師以外の医療技術者団体を広く一般市民に対してピーアールする場として毎年開催されてきました。もともと道庁 1 階ホールにて開催されていたのですが、3 年ほど前より人通りの多いこの「ちかほ」での開催となっています。

開催当日は夏の強い日差しを避けようと「ちかほ」の人通りも多く、当会含め他の職能団体も、医療における各職種役割や業務内容など一般市民に広く積極的なピーアール活動が行われていました。

当会のパネルの前で直接ピーアールにあたった公益事業推進委員会の齋藤委員によると、パネル展の見学を主目的に会場に足を運

んだというよりは、通りすがりに寄ってみたいという方がほとんどで、とくに「臨床工学技士」の名前で足を止めてくれたのは、友人が某大学の臨床工学専攻に通っているという大学生だけだったそうです。全般的には 60~70 代の女性が多く、理学療法や鍼灸などの文字をみてパネル展へ寄ってくれた方がほとんどで、まだまだ認知度が低い臨床工学技士をピーアールするのはとても難しかったそうです。

休日返上で対応した、村谷公益副委員長と齋藤委員は「足をとめて下さった方へ臨床工学技士業務の多様さと重要さを説明し、技士の業務を周知できたので意義があったのでは」、「他職種との情報交換が出来たことも有意義でした」とパネル展をふり返ります。

また、担当者の昼休み時間の交代に駆け付けた橋本副会長も、パネルの隅に当会のパンフレットを貼り付け、当会の公益事業「AED の日常点検講習」について懸命にアピールしていました。

今回開催されたパネル展では、足を止めてくれた人数はそれほど多くありませんでしたが、臨床工学技士をはじめとする医療技術職について、ほとんど興味や情報が無かった方々に少しでも臨床工学技士のことを知ってもらい、認知度を上げることができ非常に意義のあるものと思われました。

(広報 奥山)



パネルを使って C E の説明をする公益委員の齋藤さん



パンフレットを手にピーアールする橋本副会長



公益事業推進委員会だより K-Palette【ケーパレット】 #8

皆さんこんにちは、公益事業推進委員会です。今回は7月に行った自動体外式除細動器(AED)の日常点検啓発活動について報告させていただきます。

<活動報告>

平成28年7月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土)の5日間に分けてAED日常点検講習を行いました。

開催施設：協業組合エクセル三和さま(北広島市)

参加者：7月2日(土) 33名
7月9日(土) 34名
7月16日(土) 28名
7月23日(土) 26名
7月30日(土) 29名

※繰り返し参加の方を含む

この度、AEDに関わる講習を複数回実施して欲しいとの依頼がありました。担当者様へお話を伺ったところ、地域へ貢献をするために運搬車へAEDを搭載し業務を行いたいとの理由でした。そのため、AEDの日常点検方法・使用方法そしてBLSについての説明だけではなく、たくさんの方に「BLS模擬体験」をしていただきました。積極的な質問も数多くあり、活発で明るい社風と熱意を感じました。

公益事業推進委員会では、自動体外式除細動器(AED)の日常点検啓発活動の方法や内容について再考中であり、我々にとって良い経験となりました。

講習担当者

札幌医科大学附属病院	橋本	佳苗	(北海道臨床工学技士会副会長)
H・Nメテック北広島	増井	隼樹	(公益事業推進委員)
札幌医科大学附属病院	橋本	修一	(サポートメンバー)
札幌医科大学附属病院	室橋	高男	(北海道臨床工学技士会名誉会員)



AED日常点検講習の申込みは公益社団法人北海道臨床工学技士会ホームページ(<http://hcea.umin.ac.jp>)より受け付けています。

頑張れ！フレッシュヤーズ

このコーナーは、平成27年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。今回は、平成28年3月に札幌医学技術福祉歯科専門学校を卒業し、現在王子総合病院にて勤務中の宮谷政大さんです。



王子総合病院
宮谷 政大

私は平成28年3月に西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 臨床工学技士科を卒業し、4月から、王子総合病院 医療技術部 臨床工学科に勤務しています。当科では、血液浄化業務、ICU業務、手術室業務、ME 機器中央管理業務、心臓カテーテル検査業務、高気圧酸素業務など、様々な業務を行っています。現在は血液浄化業務専属の技士として充実した日々を過ごしています。働き始めて約半年が経ち、1人で行う業務が増え、不安や緊張、責任を感じる毎日です。

血液浄化業務は主に、回路組み、プライミング、穿刺、定時チェック、患者担当、返血などを行っています。患者担当では血液浄化に対する知識や看護の考え方が必要になります。わからない事が多く、先輩方や血液浄化室の看護師の方々にご指導いただきながら日々勉強させていただいております。業務を行う上では患者様とのコミュニケーションがとても大切です。患者様の立場に立って、今何をしたいのか、どうすればより良い医療

を提供出来るのかを考え、思いやりの気持ちを持って行動する様に心掛けています。

実際の透析現場では、学校で学んだ事や臨床実習での経験以上に様々な知識や、素早い判断力が必要になる事が多くあります。先輩方の迅速で的確な対応力には本当に感銘を受けます。臨床工学技士の業務は正確さが大切だと考える為、自分の手技への不安や知識不足から何度も確認し業務を施行するので時間が掛かってしまう場合があり、日々自分の未熟さを感じています。

まだまだ知識も経験も足りませんが、将来は様々な業務で活躍出来る様、また先輩方に少しでも近づける様努力を怠らず、高い向上心を持って、患者様や医療スタッフの方々から信頼される臨床工学技士を目指して日々精進していきたいと思えます。



同一施設まとめ郵送のお知らせ

現在正会員の郵送物は全て個別に郵送しております。郵送コスト削減策として8月の技士会ニュースより、同一施設まとめ郵送を実施することになりました。角2封筒1枚に個別包装された郵送物をまとめて入れることにより郵送代が大幅に節約できます。なおご自宅が郵送先の方は今までどおり郵送いたしますが、できる限り各施設への郵送に変更していただけますよう、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



高リン血症治療剤

処方箋医薬品^(注) (注)注意-医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 250mg 500mg



P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
<資料請求先> <すり相談センター> 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3011JD
2016年1月作成

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

最新・最先端の医療機器の情報をご提供します。

SHIP HEALTHCARE GROUP



SMC 株式会社 札幌メディカルコーポレーション

本社 札幌市白石区本通3丁目北6番18号 ☎ 011-862-4061
函館営業所 ☎ 0138-83-2252 室蘭営業所 ☎ 0143-83-7720
旭川営業所 ☎ 0166-76-1065 北見営業所 ☎ 0157-57-1672

【業務内容】 1. 医療機器販売(循環器、不整脈、心臓外科、ニューロ、体外循環など)
2. 医療業務サポート(中材、SPD、医院開業) 3. その他
※詳細は、当社ホームページをご覧ください。⇒ http://www.ksmc.jp

針刺し防止機構付き透析用留置針 Happycath NEO

- フルカバータイプのセーフティ機能
カテーテル表面の潤滑性向上



メディキット株式会社

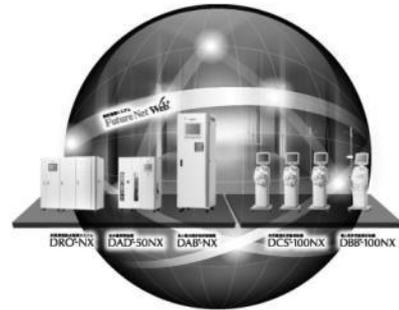
発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元: 東都メディキット株式会社 〒883-0082 宮崎県日向市大字白知屋字亀川17148-6 TEL.0992-53-8000
http://www.medikit.co.jp/
http://www.togomedikit.co.jp/

医療機器認証番号: 21200BZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP



NIKKISO Total System NX

安定した治療と、業務の最適化をサポートします。



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965



高リン血症治療剤 処方せん医薬品[※] 薬価基準収載

リオナ錠250mg

Riona[®] 一般名: クエン酸第二鉄水和物
注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること



効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室
TEL 0120-316-834 FAX 0120-797-335

販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2014年5月作成

EVERY BREATH IS PRECIOUS.

Nellcor™ PM1000N



Puritan Bennett™ 560



販売名 ネルコアレスピラトリーモニタPM1000N
医療機器承認番号 22700BZX00045000
販売名 ビューリタンベネット560
医療機器承認番号 22300BZX00031000

製造販売元
コヴィディエン ジャパン株式会社
RMS (Respiratory & Monitoring Solutions) 事業部
Tel: 0120-998-971
medtronic.co.jp

Medtronic
Further, Together

TORAY
Innovation by Chemistry



東レ独自の膜表面改質技術を採用し、
多様なHDF療法に 대응するヘモダイアフィルター

TDF PV
HV
MV

販売業者 東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>
製造販売業者 東レ株式会社

販売名: トレスルホンV
一般名: 血液透析濾過器
医療機器承認番号: 22700BZX00322000
医療機器区分: 高度管理医療機器



改正医療法
施行規則対応

ME機器管理システム
Me-ARC

**ME機器チェックと
機器管理システムが連動!**

院内ME機器チェックとME機器管理システムが連動し、保守・点検時に測定した各種データやレポートを、自動的に電子データにて管理! 同一システム上で精度管理と機器管理が行えます。

機器の運用情報を可視化

オートテスト・自動判定機能

タグを使用し簡単所在管理

テストレポート自動作成・管理

日本語ソフトとの連携で、
簡単・効率的にテスト!



ME機器チェック

ETS 株式会社 メッツ TEL (03) 3888-8445
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7 sales@mets-tokyo.jp www.mets-tokyo.jp

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

旭中空糸型ヘモダイアフィルター
ABH-F

中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減

高度管理医療機器
承認番号 22200BZX00696000

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

ABH Series

旭中空糸型血液透析濾過器
ABH-P

中空糸内径と細孔径を最適化

高度管理医療機器
承認番号 22200BZX00577000

旭化成メディカル株式会社

<http://www.asahikasei-medical.co.jp>

No.2012.5-7470



MIRCERA[®]
epoetin beta pegol

持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品[※]

ミルセラ[®] 注シリンジ

25 μ g, 50 μ g, 75 μ g, 100 μ g, 150 μ g, 200 μ g, 250 μ g

MIRCERA[®] Injection Syringe
25 μ g, 50 μ g, 75 μ g, 100 μ g, 150 μ g, 200 μ g, 250 μ g

エポエチンベータヘゴル(遺伝子組換え)注

薬価基準収載

[®]F.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標
注)注意—医師等の処方箋により使用すること

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照下さい。
<http://www.chugai-pharm.co.jp>

製造販売元  中外製薬株式会社 (資料請求先) メディカルインフォメーション部
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-189706 FAX.0120-189705

 ロシュグループ

2016年3月作成

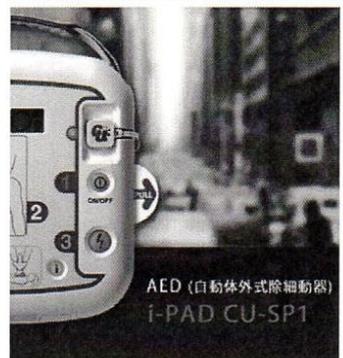
あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されています。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

act 最新医療機器と最新知識の提供を目指す
株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階
TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.act.co.jp/medical/>



AED(自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1

Medical Support Service Provider



株式会社 ぼくやく 竹山ホールディングス
TAKEYAMA HOLDINGS

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

血液浄化 低侵襲機器 内視鏡

「専門領域に特化した支援・サポート」
ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。

整形外科 眼科

循環器 画像診断機器 テクニカルサポート



株式会社 竹山

代表取締役 茂野 護

本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌 中央支店 ☎011-205-8061	北支店 ☎011-205-8065	新札幌支店 ☎011-861-2223
大宮支店 ☎011-711-0123	旭支店 ☎011-711-0124	市内営業所 ☎011-205-8062
札幌センター ☎011-205-8063	旭センター ☎011-826-5161	
道央・道南 青森支店 ☎0143-451221	苫小牧支店 ☎0144-53-2101	小樽支店 ☎0134-29-4524
青森支店 ☎0126-25-6992	函館支店 ☎0138-83-5000	
道東・道北 網走支店 ☎0154-25-2241	北見支店 ☎0157-31-3224	帯広支店 ☎0155-35-5800
旭川支店 ☎0166-73-3011	空知支店 ☎0125-54-3465	道北支店 ☎01654-3-9955
仙台支店 ☎03-3814-0103	横浜営業所 ☎045-232-3310	

在宅医療の未来へ

呼吸不全に対して多角的なアプローチをご提供し、在宅を中心に呼吸療法をきめ細かくサポートいたします。



本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 TEL. (03)3813-7200(代)
札幌 VC 〒001-0020 北海道札幌市北区北20条西3丁目 江洋ビル TEL. (011)756-8585



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

ヘパフィールド®

透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

日本標準商品分類番号 87 3334
薬備基準取載

- 清潔操作を実現
- 薬剤汚染を防止
- 誤投薬を防止
- 調製作業を簡略化
- 充てん操作が不要
- 作業速度が向上

販売元 株式会社 ジェイ・エム・エス Otsuka 株式会社 大塚製薬工場
JMS 株式会社 ジェイ・エム・エス 徳島県徳島市徳島町立岩字赤木115
文獻請求先 株式会社ジェイ・エム・エス血液浄化営業部 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル TEL: 03-6404-0602



SERVO-U™は、保護換気の効果的な選択肢を幅広く用意しています。いずれも便利で、分かりやすく、そして使いやすく簡単です。つまり、強制換気、サポート換気、非侵襲的換気、自発呼吸トライアル(SBT)中などのあらゆる段階にある、多くの患者が高度な肺保護戦略の恩恵を受けることができます。パワフルな新モデルをぜひお試しください。

新生児・小児・成人用人工呼吸器 SERVO-U

製造販売承認番号:22600BZX00361000 ※新生児はオプション

FUKUDA DENSHI 本社 / 〒060-0013 北海道札幌市中央区北13条西17丁目1番35号 TEL(011)737-3171(代)
お客様窓口 ☎(03)5802-6600 / 受付時間:月~金曜日(祝祭日、休日を除く)9:00~18:00
<http://www.fukuda.co.jp/> **777電子北海道販売株式会社**

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光五条3-1-1 TEL(0166)32-6970(代)	●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-12 TEL(0138)55-6097(代)
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 TEL(0154)39-1088(代)	●北見出張所 〒090-0048 北海道北見市北8条西1-15 TEL(0157)22-6620(代)
●帯広出張所 〒080-0026 北海道帯広市西16条南1-18-5 TEL(0155)58-1810(代)	

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	統括診療部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷
株式会社 プリントパック
<http://www.printpac.co.jp/>